

REAR CAMERA HARNESS RCH011N

RCH011N は、後付リアカメラの取り付けを簡単にするための製品です。

適合車種 ZE0 リーフ（リアカメラ未装着車）

Oata System 株式会社 データシステム

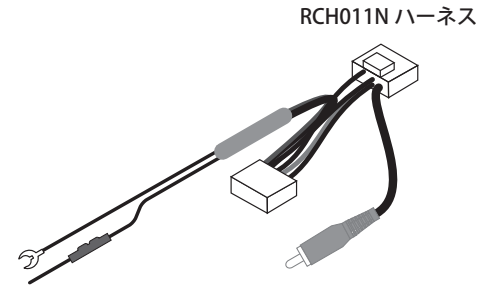
■ [本 社]
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-18-2 TEL.03-5369-4137 (代)

■ [倉敷支社]
〒712-8061 岡山県倉敷市神田 1-1-11
TEL.086-445-1617 (代) FAX.086-440-1635
自動音声案内に従って下記の # (シャープ) と番号を押してください。
#1 適合確認 #2 サービス (技術的なお問い合わせ・修理受付)
#3 在庫確認・ご注文

(※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねますので予めご了承ください)

弊社に無断で本説明書の内容、図、写真の全部または一部の複製 (コピー)・転用・転載を禁じます。

内容物



RCA ピン変換コネクタ
ギボシ端子、スリーブ
取扱説明書

1 個
1 セット
(本書)

- 本製品を使用、操作したことによって発生した、人身・物損事故の責任・補償は一切負いません。
- ユニット内のカセット、音楽ディスク、地図ディスク等すべてイジェクトしてから、脱着作業を行って下さい。
- コネクタを外すときは、コネクタの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いて下さい。コネクタを無理に引っ張りますと、車両側ユニット内の基板が破損する恐れがあります。
- 配線部分を引っ張ることは絶対にしないで下さい。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- コネクタを接続するときは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んで下さい。
- 端子を接続するときは、奥まで確実に差し込んで下さい。
- 本製品は、必要に応じて配線部を結束バンドで固定して下さい。固定しないとコネクタの接触不良、配線の断線の恐れがあります。
- 本製品を取り付ける際は、ハーネス、配線等がパネルやシートレール、ペダル等に噛み込まれたり挟まれる可能性のある場所には絶対に設置しないで下さい。製品の破損やハーネス断線等の恐れがあります。
- 本製品の取り付けには専門知識が必要ですので、販売店または整備工場などに作業を依頼してください。
- 適合外の車両へ取り付けが発生したクレーム、事故、故障等に関する責任は弊社では一切負いません、予めご了承ください。

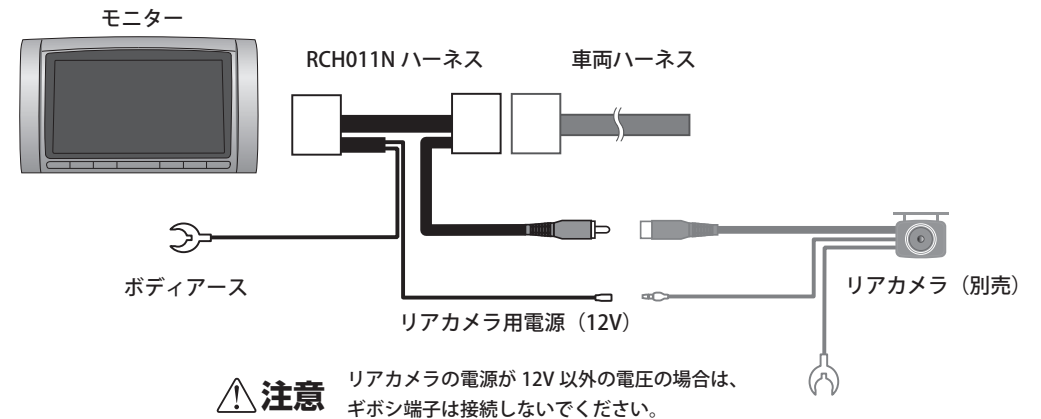
⚠ 重要

- リアカメラは出力される映像が正像をご用意ください。RCH011N には映像を反転させる機能はございません。

⚠ 重要

- ガイド線の調整はカーディーラーにお問い合わせください。

RCH011N 接続概要図



⚠ **注意** リアカメラの電源が 12V 以外の電圧の場合は、ギボシ端子は接続しないでください。

取付方法 (概要)

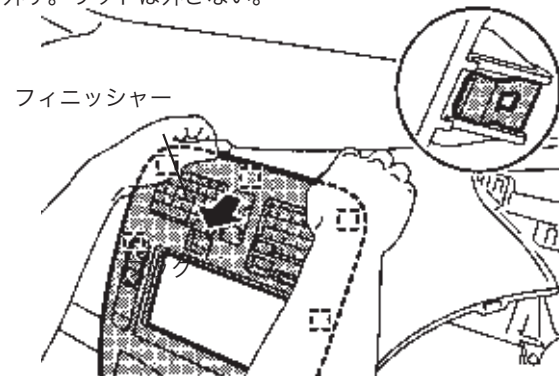
この取付説明では、リアカメラハーネス RCH011N の取付方法だけを説明しています。リアカメラ (別売) の取り付けについては、それぞれの説明書をお読みになってお取り付けください。リアカメラの電源が 12V の場合、リアカメラのバック電源 (バックランプ電源) は、RCH011N から取得できます。モニターユニットの取り外し方法は、裏面をご覧ください。

1. バッテリーマイナス端子を外します。
2. 裏面のハーネス取付を参考に RCH011N ハーネスを取り付けます。
3. RCH011N ハーネスの RCA ピン端子をリアカメラ映像端子と接続します。
4. リアカメラの動作電圧が 12V の場合、RCH011N の赤線 (バックランプ電源) をリアカメラの電源線に接続します。リアカメラの電源が 12V 以外の場合は、RCH011N の電源線は使わずリアカメラの説明書にしたがって取り付けてください。
5. RCH011N ハーネスの黒線をボディアースに確実に接続します。
6. モニターを動作できるようにします。
7. バッテリーマイナス端子を接続します。
8. 車のエンジンをかけてモニターを起動させます。
9. シフトレバーを「R (リバース)」にしてモニターにリアカメラの映像が映ることを確認します。
10. 裏面の説明を参考に「ナビの時刻合わせ」を行ってください。

モニターユニット取り外し

図1 クラスタリッド クリップ外し

クラスタリッド上部を手前に引き、クリップのかん合を外す。リッドは外さない。



クラスタリッド下部を手前に引き、クリップのかん合を外す。リッドは外さない。

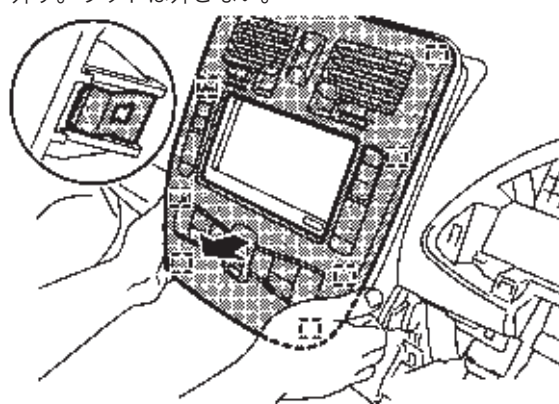
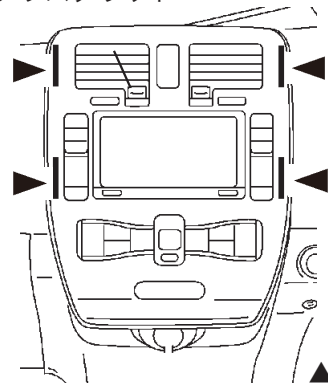


図2 クラスタリッド取り外し

4本あるフックをかわして、クラスタリッドを取り外す。

クラスタリッド



▲:フック位置 (4か所)

フック断面図

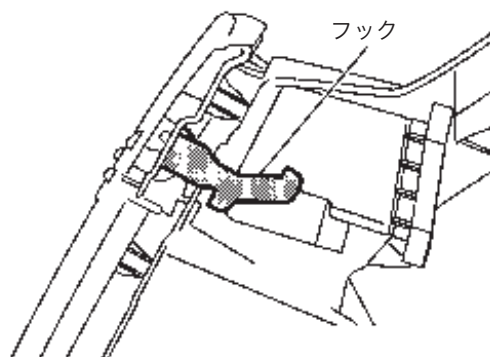
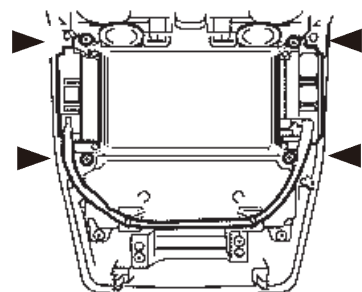


図3 モニターユニット取り外し

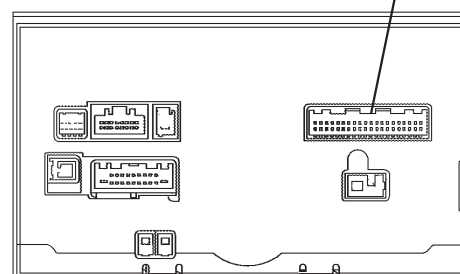
スクリュー (4本) を外し、モニターユニットを取り外す。



▲:スクリュー

図4 本製品取付位置 (モニターユニット裏側)

40ピンコネクター



図示のコネクターに接続してください

注意 取り付け後のナビの時刻合わせ

取り付け終了後、必ずナビの時刻合わせを行ってください。行わないとタイマー充電が動作しないことがあります。

モニター、パネルを戻す。
バッテリーマイナス端子を接続する。

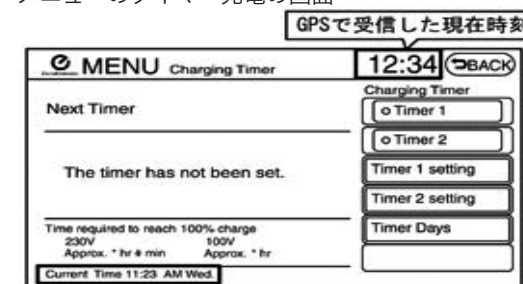
GPSの信号を受信できる場所で作業を行う。
「e Zero Emission」スイッチを押し、メニューでタイマー充電の画面を表示させる。

タイマー充電画面の右上に出る時刻 (GPS 時刻) と左下の時刻 (VCM 時刻) が一致していない場合は、更新画面が表示されるまで1、2分待つ。

更新画面が出たら、画面右下の「時刻を修正」を押し、VCM時刻が修正される。

右上の「戻る」を押しメニュー画面でGPS時刻とVCM時刻が一致していることを確認する。

メニューのタイマー充電の画面



VCMで記憶している現在時刻

更新画面

